

平成18年度  
市川市芸術祭参加

第320回「交響樂の午後」

市響55周年記念演奏会

2006

復

マーラー・交響曲第2番ハ短調「復活」

活

2006

平成18年7月17日 祝

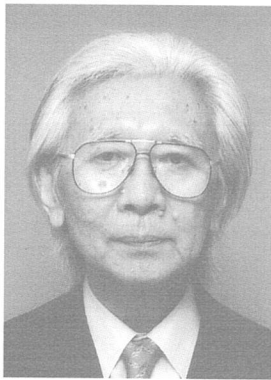
13:30開場 14:00開演

市川市文化会館 大ホール

主催：市川市 市川交響楽団協会  
後援：千葉交響楽団協会  
協賛：ヤマザキ製パン(株) (株)全日警  
協力：市川市合唱連盟

市響メールアドレス [ichikyo@plum.ocn.ne.jp](mailto:ichikyo@plum.ocn.ne.jp)  
市響ホームページ <http://www33.ocn.ne.jp/~ichikyo/>

## ご挨拶



市川交響楽団協会

理事長 **横田行雄**

1951年（昭和26年）市川交響楽団協会が、市川交響楽団と市川混声合唱団の2団体で発足してから、本年55年の節目を迎えることが出来ました。その後、市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラ、行徳混声合唱団等が誕生し、現在に至っています。

絶えず地域の文化活動として、展開してきましたが、今日の成長を考えるにつけ、この間どんなにか多くの方々にお世話になったかと感謝の気持ちで一杯でございます。

当初は、何もかも手作りの時代、楽譜も手書き、会場は主に学校の体育館、みんなで雑巾がけをしたり、客席のベンチを並べたりして演奏をしたものでした。ひるがえって現在、県下をはじめ全国的にも市民オーケストラ活動は隆盛を極め、地域に密着した活動を展開しております。いわば、クラシック音楽の裾野をがっちり固めているといっても過言ではないと思います。今後この節目を通過点として、自分達の楽しみを糧としながら、ますます地域に奉仕する団体として活発に活動を繰り広げていきたいと思ひます。

今後とも、皆様のご声援を切にお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

## 市響55周年の歩み

昭和26年（1951）	2. 11	市川交響楽団 結成
	7. 10	市川文化会合唱団を市川混声合唱団と改称
	7. 20	市川交響楽団協会 発足
	11. 25	第1回 市響市混 市川市文化祭「交響楽の夕べ」
昭和35年（1960）	4. 10	市川交響吹奏楽団 結成
	7. 24	第34回 市響「10周年記念演奏会」
昭和46年（1971）	12. 5	第90回 市響創立20周年記念「第九交響曲の夕べ」
昭和50年（1975）	5. 11	市響ジュニアオーケストラ 結成
昭和54年（1979）	9. 4	行徳混声合唱団 結成
昭和55年（1980）	10. 10	第142回 市響30周年記念「市川交響楽団コンサート」
昭和61年（1986）	6. 1	第183回 日中交流市響創立35周年記念コンサート
平成3年（1991）	6. 2	第218回 市響創立40周年記念「日中交流交響楽コンサート」
平成8年（1996）	6. 30	第254回「市響45周年日中交流・交響楽の午後」
平成13年（2001）	3. 30	第287回 市響「室内楽の午後」市響50周年記念シリーズ#1
	5. 5	第288回「第26回市響ジュニア定期演奏会」市響50周年記念シリーズ#2
	7. 15	第289回 市響「交響楽の午後」市響50周年記念シリーズ#3
	8. 26	第290回「市吹納涼コンサート」市響50周年記念シリーズ#4
	10. 7	第291回「合唱の集い」市響50周年記念シリーズ#5
	12. 9	第292回 市響「ファミリー交響楽コンサート」市響50周年記念シリーズ#6
平成18年（2006）	7. 17	第320回 市響「交響楽の午後」市響55周年記念演奏会

\* 曲目、指揮者等は市響50周年記念誌をご覧ください。

## お祝いの言葉



### 市川市長 千葉光行

このたび、市川交響楽団協会が創立55周年を迎え、市川市文化会館大ホールで盛大に記念コンサートが開催されますことを心からお祝い申し上げます。

市川交響楽団協会は、「市響」の名で親しまれ、各加盟団体が行う定期演奏会には、毎回多くの市民が会場へ足を運ばれます。こうした日頃の音楽活動を通じ、地域文化の振興に貢献していただいておりますことに心から敬意を表します。

本日の演奏会は、「市響」の中心的な存在である市川交響楽団が、指揮者に金<sup>キム</sup> 洪<sup>ホン</sup>才<sup>サイ</sup>氏をお迎えし、マーラーの交響曲「復活」が演奏されます。最終楽章では一般参加者も加えた「市響・復活」合唱団の出演もごぞいます。是非日頃の成果を遺憾なく発揮され、素晴らしい演奏会となることを期待しております。市川交響楽団協会の更なるご発展と会員の皆様の活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

## 創立55周年を祝う



(社) 日本アマチュアオーケストラ連盟

### 理事長 森下元康

わが国のアマチュアオーケストラ活動の先駆者であり、私たちを導いていただいた村上正治先生が逝去されてから3年がたちました。(社) 日本アマチュアオーケストラ連盟 (J A O) は、本年で創立から34年目になりますが、創立当初から村上先生の市川交響楽団と私たち豊橋交響楽団が協力して連盟を運営してきました。その市川交響楽団の創立55周年記念に、マーラーの「復活」を演奏されるとあって、本日の期待は膨らむばかりです。

ご存知のとおり、千葉県は日本一アマチュアオーケストラや学校オーケストラの多いところで、その音楽的なレベルと相まち、名実共に日本一の県であります。一方 J A O の会員の中には、アマチュアオーケストラを維持運営していく環境が整わず苦しんでいる地域が数多くあって、ここにも格差が目立ちます。

今後、市川交響楽団が後発の仲間の指標となりますよう、本日のコンサートを新たな出発点とします。まずご発展をお祈りする次第です。

## 本日のプログラム

### マーラー 交響曲第2番ハ短調「復活」

- 第1楽章 アレグロ・マエストーソ〈葬送〉 一貫して真面目で、しかも荘厳な表現で  
第2楽章 アンダンテ・モデラート きわめて気楽に、決して急がずに  
第3楽章 スケルツォ おだやかに、流れるような動きで  
第4楽章 「原光」 きわめて荘厳に、しかし簡潔に  
第5楽章 イン・テンポ・ディ・スケルツォ スケルツォのテンポで、荒々しく

## 指揮



### 金 洪才 (キム・ホンジェ)

1954年生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。指揮を堤俊作、秋山和慶、小澤征爾の各氏に師事。

1978年東京シティ・フィル特別演奏会でデビュー。1979年国際指揮者コンクールで第2位と、初めての特別賞(齋藤秀雄賞)受賞。1980年、テレビ番組「オーケストラがやってきた」専属指揮者に選ばれ、1981年にはNTV系「私の音楽会」の専属指揮者として読売日本交響楽団を指揮。以後、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、京都市交響楽団の指揮者を歴任の傍ら、東京都交響楽団をはじめ、全国主要オーケストラを客演指揮し、内外の著名なソリストとも共演してその優れた音楽性と鮮やかな指揮は好評を博してきた。1989年よりベルリンにおいて作曲家、尹伊桑(ユン・イサン)氏の下で研鑽を積む。1992年9月にはニューヨーク・コーリアン交響楽団を指揮して、カーネギーホールでアメリカデビューを果し、成功をおさめた。1998年には長野パラリンピック開幕式典演奏の指揮をつとめ、同年「次世代の音楽界を担う優秀な指揮者」に贈られる渡邊暁雄音楽賞を受賞。

2000年10月にソウルで開かれたアジア欧州会議(ASEM)の祝賀公演に招かれ、韓国のKBS交響楽団を指揮し絶賛された。2001年よりKBS交響楽団、韓国交響楽団の定期演奏会にたびたび登場。2004年10月 文化庁舞台芸術国際フェスティバル公演として、ソウルフィルハーモニック管弦楽団来日公演(東京、大阪)と続く定期演奏会(ソウル)を指揮し、各地で絶賛を博した。

オペラでは2001年10月 韓国《芸術の殿堂、オペラハウス》でヴェルディ「仮面舞踏会」を五夜連続公演し大成功を収め、2003年9月には日韓提携公演(広島)でプッチーニ「蝶々夫人」を指揮。

2004年3月に韓国国立オペラ団主催によるユン・イサン作曲 オペラ「精霊の愛」をアジアで初演し話題となる。これまでにNHK教育、衛星、FMコンサート(新日フィル、東フィル他)に多数出演し、また録音においても東芝EMI、キングレコードなどからCDが発売されている。

市川交響楽団とは2000年7月ブルックナー/8番、2001年7月マーラー/3番<市響50周年>に続く3度目の客演となる。

## 合唱

### 「市響・復活」合唱団 (「いちきょう・ふっかつ」がっしょうだん)

市混、行混、市川市合唱連盟の協力のもとに、是非とも市川で「復活」を歌ってみたいという合唱愛好者を募って本日の演奏会のために結成した合唱団。練習は市川会場、行徳会場の2ヶ所で実施し、合唱指揮者山 先生の指導のもと、ピアノ伴奏と一部の女生合唱指導については市響ピアニストの鈴木珠美先生にご協力をお願いしました。(団長:篠田要衛 副団長:古畑 功)

## 管弦楽

### 市川交響楽団 (いちかわこうきょうがくだん)

本年創立55周年目を迎えるアマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。

メンバーは現在100余名で年齢構成は20代から70代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラ・フェスティバル等にもしばしば招かれ演奏を披露している。また、著名な音楽家との共演も数多く経験しているほか、特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽芸術の振興に多大な貢献をしている。

市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する市川交響楽団協会の中核として“クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう”をモットーに常に積極的な活動を展開している。

## ソプラノ・ソロ



### 星川美保子 (ほしかわ・みほこ)

愛知県出身。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。芸大卒業時に同声会卒業演奏会に出演。毛利 準、伊原直子の各氏に師事。二期会オペラ研究所マスタークラス第46期修了。2003年よりドイツ・ライプチヒに留学。Christina Wartenberg氏に師事。

オペラでは、芸大定期オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルデイリージ役、ブリテン『ヴェニスに死す』イギリス婦人役として出演。05年3月二期会公演『魔笛』パミーナ役、10月同ニューウェーブオペラ劇場『ジュリアス・シーザー』クレオパトラ役で出演。いずれも好評を博す。コンサートでは、第50回芸大メサイヤ、モーツァルト「モテット」、「レクイエム」、ハイドン「ミサ曲」、フォーレ「レクイエム」、ヴィヴァルディ「グローリア・ミサ」、バッハ「口短調ミサ曲」、「クリスマス・オラトリオ」、「マニフィカート」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」などのソリストを務める。

芸大在学中、東京芸大バッハ・カンタータ・クラブに所属し、小林道夫氏のもとで研鑽を積み、バッハのカンタータのソロ及び合唱を数多く演奏している。二期会会員。

## メゾソプラノ・ソロ



### 田村由貴絵 (たむら・ゆきえ)

お茶の水女子大学フランス文学専攻卒業。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院音楽研究科声楽(オペラ)専攻修了。二期会オペラ研究所修了。修了時に優秀賞および中山悌一賞受賞。オペラでは『コシ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『ボッペアの戴冠』オッターヴィア、『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル、『フィガロの結婚』マルチェリーナ、『カルメン』メルセデス、2005年10月には二期会『エジプトのジュリアス・シーザー』において主役のジュリアス・シーザー役を務めた。宗教曲ではこれまでに、ヴィヴァルディの『グローリアミサ』、J.S.バッハ『ト長調ミサ』『口短調ミサ』『ヨハネ受難曲』『マニフィカート』そして多くの教会カンタータ、ヘンデル『メサイヤ』、メンデルスゾーン『エリヤ』などのアルトソロを務めた。コンサートにおいてもベートーヴェン『第9交響曲』、マーラー『大地の歌』のアルトソロなどを務めている。井原直子、小原伸枝の各氏に師事。二期会会員

## 練習指揮・合唱指導

### 山崎 滋 (やまざき・しげる)

東京生まれ。東京芸術大学指揮科にて金子登、佐藤功太郎両氏に師事。在学中より二期会オペラの合唱指揮・副指揮者として活動を始め、若杉弘、小沢征爾氏等のアシスタントを務める。また、オペラ研究生スタジオの講師として後進の指導にあたる。1996年パイロイト音楽祭に派遣され、ノベルト・バラッチ氏に師事。その後、新国立劇場開場記念公演では、同氏のアシスタントおよび副指揮を務める。2000年4月より新国立劇場(オペラハウス)専属となり現在に至る。市響ジュニアオーケストラ、市川混声合唱団、行徳混声合唱団の指揮者として団員の指導にあたる。日本指揮者協会会員。

## オーケストラトレーナー

### 世川 望 (せがわ●のぞむ)

市川市出身。真間小、一中卒。芸大付属高校を経て、東京芸術大学にてホルンを守山光三氏に師事。卒業後、ミュンヘン音楽大学にてホルン奏者として研鑽を積む。また、ケルン音楽大学では指揮法を学ぶ。ボン・ベートーヴェンハレ管弦楽団、ゾーリンゲン市立管弦楽団の契約団員ののち、クラシックフィルハーモニー・ボンの団員となる。現在は日本体育大学教養音楽助教授として、スポーツ選手のリズム感教育に携わる傍ら、フリーで演奏活動を行う。指揮者としては市響ジュニアオーケストラ、市川交響楽団、専修大学フィルハーモニー管弦楽団のトレーナーを務める。日本ホルン協会常任理事、国際ホルン協会会員、ショコラ・ヴィルトオーズ・ジャパン代表。

## マーラー：交響曲第2番 ハ短調「復活」

グスタフ・マーラーは19世紀末から20世紀初頭に活躍した指揮者で作曲家です。

指揮者としてのマーラーは当時人気実力ともに高く、ヨーロッパの歌劇場を中心に、モーツァルトやワーグナーのオペラを得意として活躍しました。また、ベートーヴェンやシューマンの交響曲などの自分が指揮するための編曲を残しています。(市響もシューマン作曲交響曲第3番「ライン」のマーラー編曲版を1997年に取り上げています)

作曲家としてのマーラーは歌曲と交響曲に名作が多く現在では人気絶頂の大作作曲家ですが、当時はあまり認められていませんでした。この「復活」の初演では、先に発表した第1交響曲「巨人」の初演失敗を挽回して、自分を作曲家としての認めてもらうために、マーラーは自費でベルリン・フィルハーモニーと合唱団を雇いリハーサルを重ねるといった熱の入れようでした。マーラー36歳のときです。

この曲の名称「復活」とは、最終楽章で歌詞として使用されたクロプシュトックの「復活」賛歌によるもので、イエス・キリストの復活を歌ったものです。しかしマーラーはそのときユダヤ教徒で、翌年にローマン・カトリックに改宗していますが、これは当時反ユダヤ主義だったウィーン宮廷(現 国立)歌劇場の指揮者に就くためと、社交界の花といわれた恋多き女性アルマと結婚するためでした。このようにマーラー自身はあまり信心深いほうではなかったようで、キリスト教でいう「復活」を標題とする構想であったかどうかは疑問の余地があります。

蛇足ですが、**マーラーの妻**だったアルマはワーグナーの楽劇にあこがれて作曲家をめざそうとした少女時代からその美貌と多才ぶりで、社交界では多くの男性芸術家を取りこにした恋多き女性でした。画家のクリムトは交際中に彼女をモデルとした作品を残していますし、また昨年市響が演奏した交響詩「人魚姫」の作曲者ツェムリンスキーとは師弟関係であり恋愛関係でもありました。この恋と同時進行でアルマはマーラーと知り合い、妊娠し、結婚することになります。

曲は演奏時間80分にもなる長大な曲ですが、理解しやすいメロディと、色彩感あふれる音色とスペクタクルで聴く人を虜にする魅力にあふれています。

マーラーの交響曲は**歌曲と密接な関係**にあり、第1交響曲「巨人」の第1楽章に「さすらう若人の歌」のメロディを引用することから始まり、死の3年前の48歳のときにかかれた交響曲「大地の歌」では歌曲とか交響曲の既成概



念を超えた新たな世界を作り上げています。この第2番「復活」と続く3番と4番ではマーラーが1892年に完成した歌曲集「子供の不思議な角笛」の歌詞が採用されています。

色彩感あふれる音色とスペクタクルの秘密は、緻密に計算しつくされた**オーケストレーション**にあるとおもわれます。楽譜には指揮者や奏者への注意書数多く書き込まれ、音量も *p pp ppp mp* と微妙な差をつけるように繊細に指示されています。またあるフレーズでは、オーボエは *f*、クラリネットは *p*、バスーンは *ppp* と異なる楽器が同時に同じフレーズを演奏する場合でも、まったく異なった音量指示を書いています。

マーラーは初め**第1楽章**を交響詩「葬礼」という曲として発表しようとしたのですが、当時の名指揮者ビューローに「これが音楽だとしたら、私は音楽が全くわからないことになる」と酷評され、出版社からも断られてしまい、この交響曲の第1楽章に転用されました。曲の始めの低弦が荒々しく弾く第1主題と、それとは対照的に祈り天に召されるようなヴァイオリンによる第2主題が印象的です。この楽章の後に「少なくとも5分間以上の休みを置くこと」というマーラーの指示があります。

弦楽器による舞曲風なメロディで始まる**第2楽章**は、穏やかな雰囲気を持つ部分と、3連符の弦の刻みに乗って管楽器が歌う中間部によりできています。マーラー自身この楽章を「過去の回想」と呼びました。

印象的なティンパニの強打ではじまる早い3拍子の**第3楽章**は、はじめ第2楽章として作曲されましたが、改訂の

とき現在の第2楽章と入れ替えられました。その名残か、私たちの楽譜に記載されている練習番号(オーケストラのリハーサルをスムーズに進めるために、曲の区切りに振られている番号)は第1楽章の続きになっています。中間部の低弦による歯切れのよいリズムが印象的で、その上に乗ったメロディがこの楽章を華やかに締めくくります。第3楽章から第5楽章までは切れ目なく演奏されます。

**第4楽章**は「深紅のかわいらしい薔薇よ」とアルト独唱が歌い、金管楽器によるコラールが添えられる短くも美しい間奏曲的楽章です。トランペット、オーボエ、クラリネット、ヴァイオリン・ソロ、ピッコロと各楽器の特徴を活かしてかかれた短いフレーズも聴きどころの一つです。市響

トップメンバーの歌心も併せてご堪能ください。

天地を突き破るような低弦の上行音型ではじまる**第5楽章**は宇宙的スケールの楽章です。舞台裏に配置されたホルンの牧歌的モチーフやトランペットと打楽器によるファンファーレは高度の技術を必要とするものです。後半、合唱が「復活せよ、そう、あなたは復活するのだ。」と歌いだすところはこの曲のなかで、最も心にしみるところの一つでしょう。曲はすすむにつれソプラノ・ソロ、アルト・ソロを加えていき、最後はオルガンも加わり合唱が壮大に「復活」歌い上げ、感動的なクライマックスを迎えます。  
(カーネル)

## 歌 詞

### 第4楽章

ドイツ民謡詩集『子供の不思議な角笛』から「原光」

(アルト・ソロ)

おお、深紅のかわいらしい薔薇よ！  
人は大きな苦悩に閉ざされている！  
それよりも私は天国にいたい！  
私は一本の広い道にたどり着いた。  
一人の天使がそこに来て、私を先に行かせまいとした。  
いいえ、私はそうはさせなかった！  
神から生まれた私はまた神のもとにいくのです。  
神はきっと一筋の光を私に授け、  
永遠の喜びの生命の中で私を照らしてくださるにちがいない。

### 第5楽章

クロブシュトックの賛歌『復活』の2連にマーラーが加筆

(合唱とソプラノ)

復活せよ、そう、あなたは復活するのだ。  
私の塵は、短い安らぎの後で。  
あなたを呼んだ永遠の命が、あなたに与えられる。  
種蒔かれたあなたは再び花を咲かせる。  
刈り入れの主は歩き、  
我ら死者の束を拾い集める  
(アルト独唱)  
おお、信ぜよ。わが心よ！  
失うものは何もないのだと！  
あなたのもの、それは汝が望んだもの

あなたのもの、それはあなたが愛したもの、戦って来たものなのだ！

(ソプラノ独唱)

おお、信ぜよ。あなたがいたずらに生まれて来たのではないのだと！

いたずらに生を楽しみ、苦しんだのではないのだと！

(合唱とアルト)

生まれて来たものは、滅びなければならない。

滅び去ったものは、よみがえらねばならない。

震えおののくのをやめよ！

生きるためにあなた自身を用意せよ！

(ソプラノとアルト独唱)

おお、苦しみよ！あなたは全てにしみ通る。

おお、死よ！全ての征服者だったあなたから

私は逃れ出る！

今こそ、あなたは征服されたのだ！

私は勝ち得た翼をたずさえて、舞い上がろう！

愛の命ずる求心力の中へと

眼にも届かぬ光のもとへ！

(合唱)

私が勝ち得た翼を広げて、

私は舞い上がろう！

私は再び生きるために死ぬのだ！

よみがえる、そうあなたはよみがえるのだ。

私の心よ、今ただちに！

あなたの高鳴ったその鼓動が

神のもとへと汝を運んでいくだろう！